

スポーツオープンイノベーションプラットフォーム推進会議



プロスポーツチーム×スタートアップ企業 による新たな産業創出の取組みについて

～イノベーションリーダーズ育成プログラム～



平成30年12月18日

埼玉県 産業労働部 副部長 石川英寛



埼玉県マスコット「コバトン・さいたまっち」

目次

- 1 スポーツ×スタートアップ企業に取り組んだ背景
- 2 プログラムのスキーム
 - (1) キックオフイベント開催
 - (2) プロスポーツチームからの課題
 - (3) ビジネスプランブラッシュアップ
 - (4) ビジネスプランの事例
- 3 今後の展開について

埼玉県のすがた～人口・産業・交通 ポテンシャルが高い～

- ◆約**730万人**の人口はスイスに匹敵・・・平均年齢、生産年齢人口割合とも全国屈指の若い県
- ◆多種多様な産業が集積し、約**22兆円**の名目GDPはギリシャやチェコに匹敵
- ◆利便性の高い交通網や災害リスクの低さも本県の魅力

総人口 **727万人**(全国**5位**)

出典：平成27年(2015)国勢調査

1	東京都	1,352万人
2	神奈川県	913万人
3	大阪府	884万人
4	愛知県	748万人
5	埼玉県	727万人

人口増加率 **1.0%**(全国**3位**)

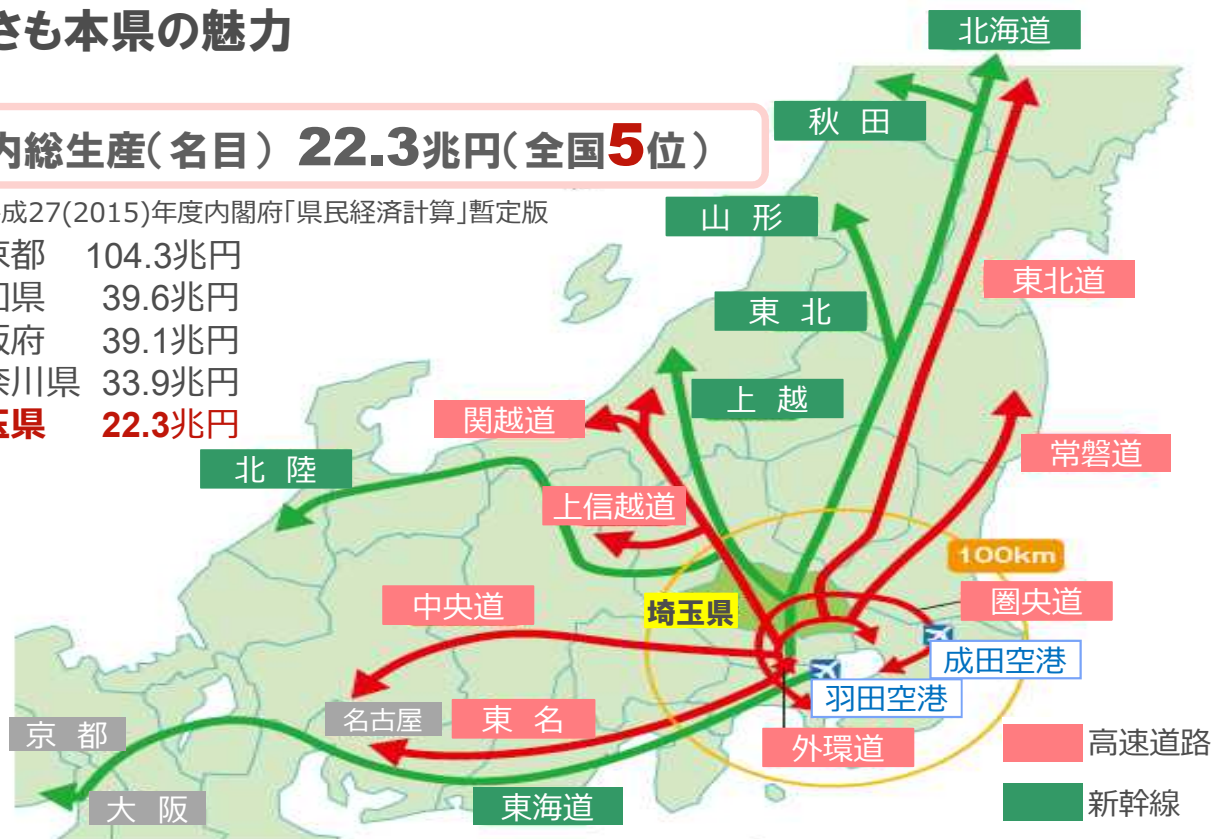
1人当たり県民雇用者報酬
460万円(全国**8位**※)

出典：平成27(2015)年度埼玉県「県民経済計算」
※順位は平成26(2014)年度内閣府「県民経済計算」

県内総生産(名目) **22.3兆円**(全国**5位**)

出典：平成27(2015)年度内閣府「県民経済計算」暫定版

1	東京都	104.3兆円
2	愛知県	39.6兆円
3	大阪府	39.1兆円
4	神奈川県	33.9兆円
5	埼玉県	22.3兆円



日本一の交通の要衝

- ・東北、上越、更に北海道など6つの新幹線で東日本の主要都市に直結
- ・東日本の大動脈「東北」・「関越」・「常磐」自動車道が南北に縦断
- ・首都圏の高速道路を結ぶ「外環道」・「圏央道」が東西に横断

災害発生リスクが低い

南海トラフ地震被害想定 建物被害(液状化、津波等)	埼玉県 700棟	東京都	神奈川県	千葉県
		2,400棟	4,000棟	2,400棟
<small>出典 平成24年8月「中央防災会議」(各都道府県で全壊棟数が最大となるケース)</small>				
海岸線延長距離	埼玉県 0km	東京都	神奈川県	千葉県
		762km	428km	534km

1-1 スポーツ×スタートアップ企業 に取り組んだ背景

① 創業を促進し、地域経済の活性化を図りたい 特に、若い世代に埼玉県での創業の魅力を知ってほしい

課題① 創業を促進する必要性

- ・社会経済が大きな変革期を迎える中、今後も競争力を維持していくためには、産業の新陳代謝を促し、新たな産業を創出していく必要がある。
- ・本県の主要産業である自動車製造業も、EV化や自動運転など、急速な変化に対応することが求められている。
- ・創業・ベンチャー支援センター埼玉では、H16年の設置以降、毎年200件の創業を創出するが、大きく成長した企業は限定的である。

埼玉県の優位性を活用

- 巨大なマーケットに隣接
- 災害が少ない
- 都内に比べてコストが安い

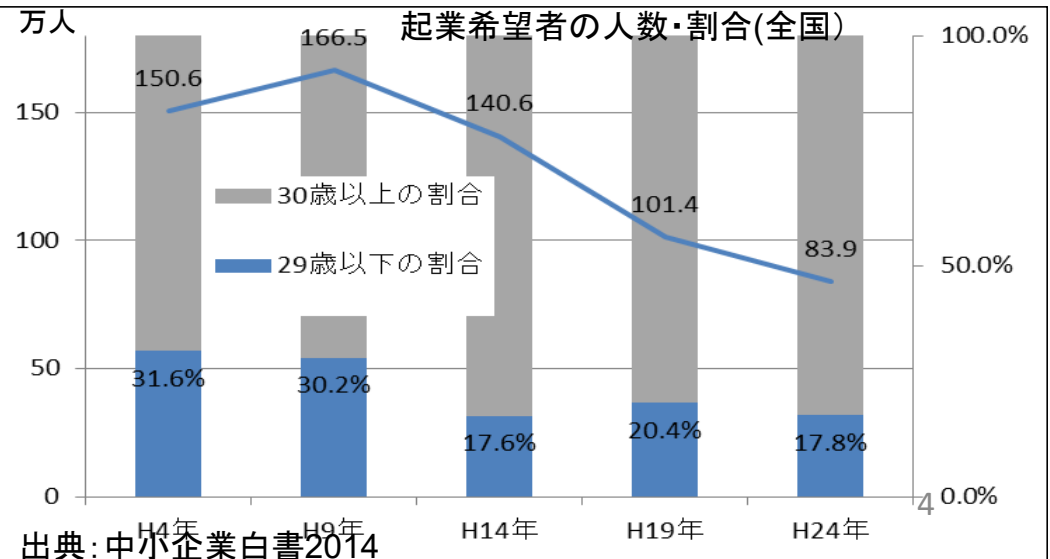
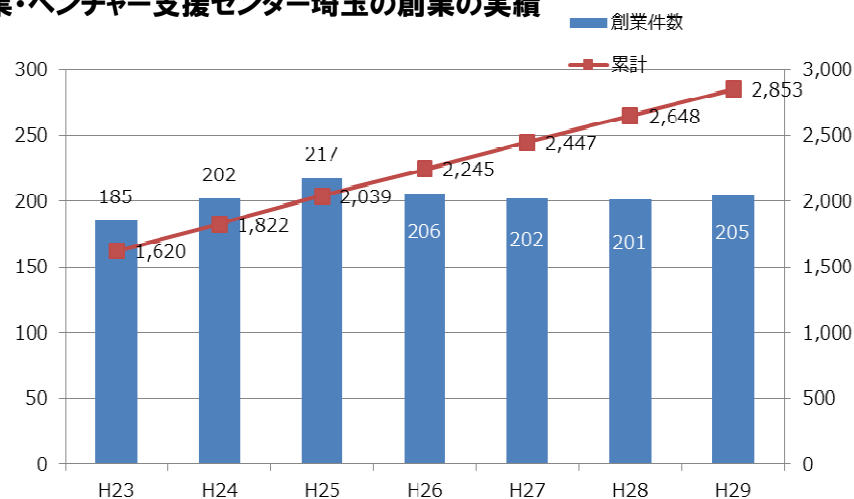
課題② 若手創業の減少傾向

- ・全国的に若い世代の起業希望者が減少している。
- ・創業・ベンチャー支援センター埼玉では、10～20代からの相談が1割未満。若い世代にどのように創業の魅力伝えていくのが課題となっている。

	H19	H24	H29
全国の起業希望者	101.4	83.9	— (万人)
うち 20代以下	20.7	14.9	—
創べ相談者	2,530	1,705	1,941 (人)
うち 20代以下	319 (12.6%)	195 (11.4%)	131 (6.7%)

※ 年齢不明者を除く

創業・ベンチャー支援センター埼玉の創業の実績



出典：中小企業白書2014

1-2 スポーツ×スタートアップ企業 に取り組んだ背景

② スポーツ関連ビジネスの飛躍的成長のチャンス

スポーツ産業の
成長産業化

官民戦略プロジェクトの一つに「スポーツの成長産業化」(内閣府「日本再興戦略2016」)
市場規模の拡大目標 2015年 5.5兆円 → 2025年 15.2兆円

スポーツの
ビッグイベント開催

2019年
ラグビーワールドカップ
2020年
オリンピック・
パラリンピック



埼玉県では4種目開催



埼玉では更に

有名プロスポーツチーム
の集積

浦和レッドダイヤモンズ
大宮アルディージャ
埼玉西武ライオンズ

協力



浦和レッドダイヤモンズ



大宮アルディージャ



埼玉西武ライオンズ

スポーツ王国 埼玉

スポーツ少年団登録団員数 全国1位
スポーツの行動者率 全国2位
サッカー王国埼玉(さいたま市にJリーグクラブが2つなど)

①+②=スポーツの魅力・発信力を活用した創業支援

御協力いただいている皆様 ~浦和レッドダイヤモンドズ~

浦和レッドダイヤモンドズ

- ホームタウン さいたま市
- ホームスタジアム
埼玉スタジアム2002、浦和駒場スタジアム

AFCチャンピオンズリーグ優勝2回
平成30年天皇杯優勝！



浦和レッドダイヤモンドズ

1993年、リーグが始まって以来、浦和レッズを支えてきてくれたのは、ホームタウンのみなさんです。

私たち浦和レッズは、これからもホームタウンのみなさんと「夢」の共有をしていきたいと考えています。

そして、サッカーというスポーツを通じて「こころ」を育む活動を行っています。埼玉県内の各地において活動する浦和レッズハートフルクラブは、小学校の授業サポートや幼稚園生を対象としたレッズキッズサッカー、中学校サッカー部活動サポート、またサッカーキャラバン等を通じて、サッカーやスポーツの楽しさ、思いやりの大切さを伝えています。

また埼玉県内の小学生とその保護者を対象とした「水源わくわくセミナー/群馬県ハッ場ダム」では、サッカー教室を実施。

さらに、埼玉国際サッカーフェスティバルにおいては大会への協賛だけでなく、サッカー教室の開催や浦和レッズレディースユースが参加し、海外のチームと国際交流を図り、大会を盛り上げています。

そして、埼玉スタジアム2002にて行われる浦和レッズのホームゲーム時には、埼玉県庁の各課が出展し各種PR情報を県民のみなさんにお届けしています。11/14に行われた県庁オープンデーにもイベント参加し、PR活動を行いました。

これからも浦和レッズは、「次世代に向けた豊かな地域・社会づくり」に貢献できるよう、ホームタウンのみなさんと共に歩んでまいります。

こんなところが凄いぞ
レッズ

スタートアップの皆さんのアイデアに期待しています。埼玉のために一緒に頑張っていきましょう



浦和レッズ本部長(広報・ホームタウン普及部) 畑中さん
ホームタウン・普及部 課長山本さん

御協力いただいている皆様 ～大宮アルディージャ～

大宮アルディージャ

- ホームタウン さいたま市
- ホームスタジアム
NACK5スタジアム大宮



大宮アルディージャ



クラブ理念に「スポーツを通じて夢と感動をわかち合える、より良い地域社会の実現に貢献します。」を掲げ、地域社会の未来を、地域の皆さまとともに創り上げる様々な活動を展開。

- ・アルディージャビジネスクラブ(ABC)
リーグ初のビジネスクラブを2008年に結成(現在105社)
地元企業間のビジネスチャンスの創出
人材育成、社会貢献活動をともに実施
社会連携交流活動をプラットフォーム化
チームの応援支援に留まらず社会貢献活動を展開
- ・埼玉県の各種事業に積極的に協力
青少年健全育成事業への貢献
障がい者スポーツへの貢献
ノーマライゼーション活動啓発
オレンジリボン活動への協力 等

こんなところが
凄いぞ
アルディージャ

斬新なアイデア
にワクワクします。
一緒に埼玉を
盛り上げて
いきましょう！



大宮アルディージャ
ホームタウン推進担当部長 望月さん
(埼玉県スポーツ推進審議会 委員)

御協力いただいている皆様 ～埼玉西武ライオンズ～



埼玉西武ライオンズ

埼玉西武ライオンズ (本拠地:埼玉県所沢市/本拠地球場:メットライフドーム)

設立:1950年(西鉄ライオンズとして設立)

1979年より埼玉県所沢市を本拠地とし2018年には40周年を迎えました。

リーグ優勝:22回 日本一:13回 (いずれもパ・リーグ最多)



L-FRIENDS (エルフレンズ)

ファンの皆さまから愛され、地域に根ざした球団を目指し、「**野球振興**」「**子ども支援**」「**地域活性**」を3つの柱に野球・スポーツを通じたコミュニティプロジェクトを実施しています。

より活力のある埼玉をスタートアップの皆さんと創っていききたいと思います！

2018年の主な取り組み

◎埼玉県の小学生にベースボールキャップをプレゼント

外遊び・運動の推奨を目的に埼玉県内の30万人以上の小学生にライオンズオリジナルベースボールキャップをプレゼントしました。

◎14の市町がフレンドリーシティに

2015年より県内の自治体と「連携協力に関する基本協定」を結び始め、フレンドリーシティの輪は36市町まで広がりました。

◎ファンの皆さまから寄付いただいた野球用具をスリランカへ

2013年より「LIONS BASEBALL FOR THE WORLD 野球用具寄付プロジェクト」として、ファンの皆さまから現在使用していない野球用具や運動靴を寄付していただき、海外の子供たちへ届けるプロジェクトを実施しています。今年は5000点以上をスリランカへ届けました。



事業部長 井上さん、8
事業部マネージャー 尾関さん

2-1 イノベーションリーダーズ育成プログラムのスキーム

ねらい

埼玉県の特性を活かし、プロスポーツチームと連携した若手起業家・スタートアップ企業支援を行うことにより、新しい産業を創出する。

概要

- 事業開始 平成30年度～平成32年度
- 予算額 30,295千円
地方創生推進交付金を活用 国 1 / 2 県 1 / 2
- 連携機関
浦和レッズ 大宮アルディージャ 埼玉西武ライオンズ
埼玉ニュービジネス協議会 さいたま起業家協議会
日本政策金融公庫 さいたま市 さいたま市産業創造財団
埼玉県産業振興公社 など

2-2 イノベーションリーダーズ育成プログラムのスキーム

- ① 8月 プロスポーツチームからテーマ発表
ビジネスアイデア募集 ⇒ 応募者 70人
- ② 9月 一次審査 43人選抜 ⇒ アイデアのブラッシュアップ
⇒ 専門家・先輩起業家による
講義・アドバイス等
- ③ 11月 二次審査 10人選抜 ⇒ 最終審査に向けたアドバイス等
- 以下は予定
- ④ 1月 最終審査 4人選抜 ⇒ 協業に向けチームとの協議等
- 来年度以降
- ⑤ H31年4月以降 4人 ⇒ 実証実験、チームとの協業等

御協力いただいている皆様

Jリーグチェアマン 村井満 氏

【講師】

- ・ キックオフイベントでの講演
- ・ 事業推進に当たっての協力



早稲田大学 間野義之 教授

【アドバイザー／講師】

- ・ キックオフイベントでの講演
- ・ 事業の推進に当たってのアドバイス



楽天大学 仲山進也 学長

【アドバイザー／講師】

- ・ キックオフイベントでの講演
- ・ 参加者に対するアドバイス
- ・ 研修のファシリテーター



埼玉ニュービジネス協議会 平沼大二郎 会長

【アドバイザー／講師】

- ・ 研修での講演
- ・ 参加者に対するアドバイス
- ・ 事業推進に当たっての協力



さいたま起業家協議会 横井博之 理事長



さいたま市

【協力】

- ・ 事業推進に当たっての協力



通常の創業セミナーと比べ、非常に多くの注目を集める スポーツ×スタートアップに関心が高いことが判明した

日 時 平成30年8月21日 18:30~20:00 場 所 大宮ソニックシティ

参加者 356人 埼玉県や東京都など近隣のほか、大阪府や高知県からも参加

内 容

- ・ 基調講演 村井Jリーグチェアマン「Jリーグをつかおう」の狙い
- ・ パネルディスカッション「スポーツ×ベンチャー×地方創生」
村井チェアマン、早稲田大学間野教授、楽天大学仲山学長、
栃木SC江藤マーケティング戦略部長
- ・ プロスポーツチームからのテーマ発表
- ・ ビジネスアイデア募集開始



アンケート結果

- ・ 満足した 97パーセント

(コメント)

あらゆる角度からスポーツの将来性を見ることができ、良い刺激になった。

スポーツ振興ではなく、スポーツ産業という視点で盛り上げたいと思った。



(村井チェアマン)

- 埼玉県の立地や風土など、特徴をうまくとらえた事業だと思う。
- 長らくスポーツは教育の一環として定義されていた。教育も大切だが、旅行やゲームが一大産業であるように、スポーツも胸を張ってビジネスとして切り拓いていくことが大切。
- これまで、行政が、スポーツをビジネスとして捉えることはほとんどなかった。
- 今回、埼玉県が、スポーツとビジネスをコラボさせると考えた視点がとても嬉しく、全面的に賛成しているゆえんである。
- クラブと行政が一緒になって産業を興し、雇用を作っていくものだと思う。
- この取り組みを全国的なものとしたい。

(早稲田大学 間野教授)

- スポーツを産業振興に結び付けた取組みは、他の都道府県ではまだ実施しておらず、国でもまだ実施できていない。埼玉から、日本のみならず、世界へ発信していくという志で実施してほしい。

浦和レッドダイヤモンズ

◆幅広い世代の健康増進とコミュニティ形成(する・学ぶスポーツ)

◆誰もが楽しめるスタジアムづくり(観るスポーツ)

◆街の人々とスタジアムをつなげる仕組みづくり(支えるスポーツ)

大宮アルディージャ

◆クラブのパートナーや協力団体等との協業による地域への貢献

◆地域の皆様との共創によるエリアブランディング

◆グローバルに開かれた地域づくりの実現

埼玉西武ライオンズ

◆地域住民共通の楽しみの場の提供

◆企業や人々が社会課題解決に参加しやすい場の提供

◆人々が生き生きと働くことのできる場の提供

ビジネスアイデア 応募 70人

1次審査 43人選抜 (9月)

2(3)

ビジネスアイデアのブラッシュアップ

先輩起業家、支援機関等が、スタートアップ企業にアドバイス
スポーツチームも意見交換に参加し、切磋琢磨する

ビジネスアイデアの ブラッシュアップ

対象 第一次選抜者 43人

期間 全5日間
(9/25、9/26、10/23、11/27、2月)

講師 楽天大学仲山学長ほか

内容

① 講義・ディスカッション

プロチーム職員や先輩起業家も参加し、
意見交換しながらプランを磨き上げる。

② 専門家や先輩起業家のアドバイス等

随時



意見交換

ネットワーク構築

- ・ 選抜者 43人
- ・ スポーツチーム
- ・ 先輩起業家
- ・ 創業支援機関 など



参加者同士で応援に

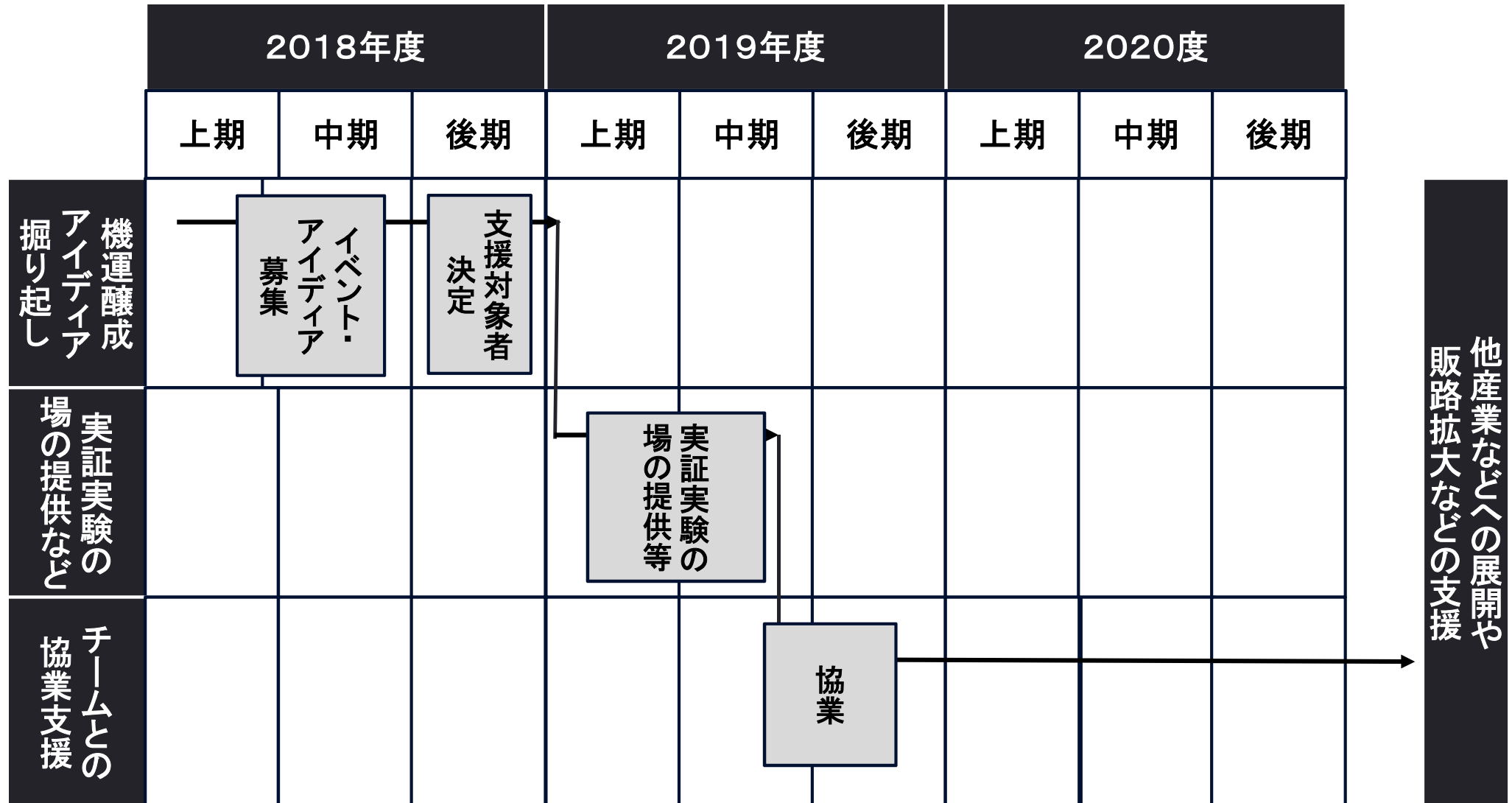


交流会

2次審査 10人選抜 (11月)

3 今後の展開について

スポーツチーム等との協業・新たなビジネスの創出に向けて



【参考】 メディア掲載実績

【新聞】

平成30年8月16日（木）	日本経済新聞
8月17日（金）	毎日新聞
8月20日（月）	日経産業新聞
9月4日（火）	毎日新聞
12月9日（日）	産経新聞

【テレビ】

平成30年8月22日（水）	テレビ埼玉 ニュース930
	JCOM デイリーニュース

【WEBメディア】

平成30年8月23日（木）	大宮経済新聞
10月18日（木）	SPORTS BUSINESS ON ASCII 等

スポーツが持つ
情熱や発信力で、
地域経済をさらに元気に！
埼玉県は、
スポーツ×スタートアップ企業
を応援します

【連絡先】

埼玉県産業労働部産業支援課創業支援担当

TEL 048-830-3908

E-MAIL

a-3770-03@pref.saitama.lg.jp